

一般質問



質問

おじまふるさと交  
流館に、子どもの

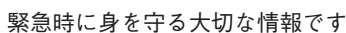
教育長

運営の方法や、お  
 じまふるさと交流

質問

教育長

**教育長** 原発事故後の安全な生活や、家族、ふるさとを大切にする心を育てることなど6項目について、小学校1年生から中学3年生までの心身の発達状況を踏まえたうえで指導を行うことにしています。



協議会等の  
 関係機関と  
 協議を行い  
 緊急時等に  
 おける高齢  
 者の不安軽  
 減につなげ  
 ていけるよ  
 う、導入に  
 ついて検討  
 していきたく  
 と考えま  
 す。

質問



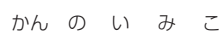
質問

**質問** 一人暮らしの高齢者に緊急医療情報キットを配布すべきと考えるがどうか。

町長

町長 民生児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の

# 子どもの命を守るための対策を



菅野意美子 議員

質問

教育長

勢に受け止め、通学路の  
 再点検を行ったところで  
 あり、今後も交通安全協  
 会などの関係団体の協力  
 を受けながら事故防止に  
 努めてまいります。

# 一人暮らしの高齢者対策は

関係機関と協議します

質問

質問

**質問** 一人暮らしの高齢者に緊急医療情報キットを配布すべきと考えるがどうか。

町長

町長 民生児童委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の

かわまた議会だより

# 町の課

## 川俣町の再生・復興の実施計画は

### 住宅周辺のモニタリングと家屋の状況を調査中です



かん の きよ かず

菅野清一 議員

**質問** 国による除染計画の現状と課題は。

**町長** 本格除染に向けた土地等の立ち入りについて承諾をもらっており、現在、住居周辺のモニタリングと家屋の状況調査を実施しているところです。

**町長** 国の実証実験は除染から作物の栽培、住民生活など総合的な計画を求めるべきではないか。

**町長** 町としては生活再建へつながるよう、トータルプランの作成について、今後とも要望していく考えです。

**町長** 町としては生活再建へつながるよう、トータルプランの作成について、今後とも要望していく考えです。



国による農地の剥ぎ取り除染

**質問** 避難区域の見直しと町の対応は。

**町長** 山木屋地区の皆さんが統一した行動が取れるようにする必要があります。

**町長** 避難住民の損害賠償は町が対応すべきではないか。

**町長** 今後、被災地としての状況を踏まえた賠償制度の充実について申し

**町長** 町としても町民からの相談など積極的に対応してまいります。

入れていきたいと思っています。

**質問** 原子力損害賠償紛争審査会に自治体の声を反映させるべきではないか。

**町長** 今後、被災地としての状況を踏まえた賠償制度の充実について申し

**町長** 今後、被災地としての状況を踏まえた賠償制度の充実について申し

**町長** 今後、被災地としての状況を踏まえた賠償制度の充実について申し

収束していない原発に対しての緊急対策は

東京電力や国等への要請を強化します

**町長** 災害対策の具体的な計画はできているのか。

**町長** 地域防災計画の見直しを行っています。

**町長** これまで以上に東京電力や国等への要請を強化してまいります。

**質問** 被災13市町村の自治体が連携して、情報伝達、情報開示など国や県の機関と協議し、早急に計画し公表すべきではないか。



平野復興大臣に要望する13市町村議会の代表たち





畑の除染作業（小島岩阿久地内）

# 除染の促進を

## 早急に進めます



いし かわ きよし  
石河 清 議員

**質問** 現在の農地の除染状況は。

**町長** 各農家の皆様と委託契約を結び、現在除染作業を進めているところです。

**質問** 農地除染における各地区ごとの契約農家戸数と面積は。

**町長** 契約件数は町全体で1337件です。

**質問** 町内全ての圃場（水田、畑）について土壌検査を実施し、線量マップを作成すべきではないか。

**町長** 水田3400地点、畑地2900地点

の土壌を検査し、線量マップを作成する予定です。

**質問** 牧草地、桑畑、タラの木畑などの除染にも早急に取り組むべきではないか。

**町長** 桑畑等の除染も必要であると考えますので、除染方法等について国、県と協議をしながら進めてまいります。

**質問** 小規模仮置場の設置について検討してはどうか。

**町長** 各地域における土地利用状況等を踏まえ、地域の方々よく相談をしながら、仮置場の大きさを含めて調整していきたいと考えます。



地区公民館に配置予定の食品検査器

**質問** 仮置場設置に伴う選定基準や設置方針を町民に示したうえで、仮置場の確保に全力で取り組むべきではないか。

**町長** 仮置場設置の基本方針に沿って、地域の方々に十分に説明したうえで取り組んでいきます。

**質問** 農村部の住宅に対する除染対策は。

**町長** 除染前に放射線量を測定し、森林の

端から20メートル程度の範囲で落葉、枝葉等の除去等の除染を実施する考えです。

**質問** 食品検査器の各地区公民館への設置はいつ頃か。

**町長** 食品の放射性物質の基準等の見直しにより、新たな体制づくりが必要となったことから、その整備に向け検討を進めます。

# 復興計画の見直しは

## 第2次計画の決定に向けて見直し中です

復興交付金の採択状況（第2次分まで）（単位：千円）

| 市町村 | 基 幹 事 業 名                               | 基幹事業配分表   |
|-----|-----------------------------------------|-----------|
| 福 島 | 造成宅地滑動崩落緊急対策事業【新規】                      | 3,750     |
| 郡 山 | 造成宅地滑動崩落緊急対策事業【新規】                      | 24,356    |
| いわき | 災害公営住宅整備事業等（災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等） | 8,597,854 |
| 白 河 | 木質バイオマス施設等緊急整備事業                        | 52,500    |
| 須賀川 | 市街地再開発事業                                | 50,190    |
| 相 馬 | 都市防災推進事業（津波シミュレーション等の計画策定等）             | 758,562   |
| 二本松 | 学校施設環境改善事業（公立学校の耐震化等）                   | 13,603    |
| 田 村 | 学校施設環境改善事業（公立学校の耐震化等）                   | 7,434     |
| 南相馬 | 道路事業（市街地相互の接続道路等）                       | 1,283,400 |
| 桑 折 | 造成宅地滑動崩落緊急対策事業【新規】                      | 156,000   |
| 国 見 | 低炭素社会対応型浄化槽集中導入事業                       | 8,493     |
| 鏡 石 | 木質バイオマス施設等緊急整備事業                        | 40,764    |
| 矢 吹 | 都市防災推進事業（津波シミュレーション等の計画策定等）             | 22,500    |
| 矢 祭 | 造成宅地滑動崩落緊急対策事業【新規】                      | 262,422   |
| 石 川 | 造成宅地滑動崩落緊急対策事業【新規】                      | 41,895    |
| 広 野 | 災害公営住宅整備事業等（災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等） | 550,375   |
| 楮 葉 | 災害公営住宅整備事業等（災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等） | 125,125   |
| 川 内 | 被災地域農業復興総合支援事業（農業用施設整備等）                | 202,495   |
| 新 地 | 防災集団移転推進事業                              | 4,935,018 |
| 飯 館 | 被災地域農業復興総合支援事業（農業用施設整備等）                | 103,411   |
| 川俣町 | ※未申請                                    | 0         |

**質問** 復興計画の見直しは進んでいるのか。  
**町長** 現在、第2次計画の決定に向けた見直しをおこなっているところであり、具体的には、

ホールボディカウンターの設置、遊具などを備えた屋内遊び場の整備などについて検討しているところです。



たか はし みち ひろ

高橋道弘 議員

**質問** 復興事業が1件も申請されていないのは何故か。  
**町長** 国の動向を注視しながら、本町の復興により良い形で活用できるように、柔軟かつ迅速に対応してまいります。

### 復興事業の申請は

柔軟かつ迅速に対応します

**質問** 避難している山木屋地区住民の生活再建をどうするのか。  
**町長** 現在、復興庁を中心として、環境省、農林水産省などが連携し検討しているところです。

極め細やかな対応を要請します

山木屋地区住民の生活再建は

が、町としても生活再建に向けた対応は、避難している住民の皆様の将来の生活設計に大きく影響を及ぼすものであり、極めて細やかな対応をとるよう要請していく考えです。



再建の見通しが立たない山木屋地区

### ホールボディカウンターの購入は

年内設置を目標に進めています

**質問** ホールボディカウンターはいつ購入するのか。  
**町長** 年内の設置を目標に進めていますが、福島県や飯館村、伊達市の購入の状況を見ると半年がかりになるものと思われま。その間については引き続き福島県の事

業やひらた中央病院での検査を実施しながら、希望者の要望に添えてまいります。

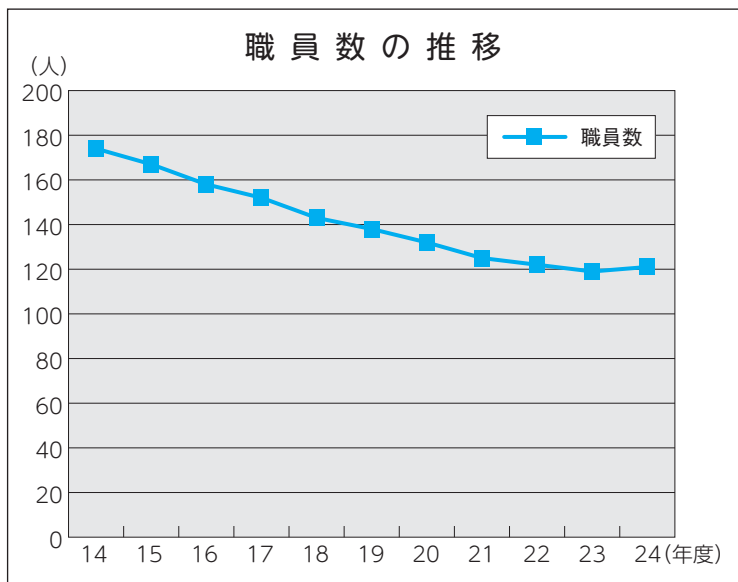
# 職員の採用を

## 積極的に採用します



くろ さわ とし お

黒沢敏雄 議員



質問

近年中に多数の職員が定年を迎える。

早期に職員を採用し、運営に支障がないようにしておくべきではないか。

町長

行政サービスの維持向上には優秀な人材の確保と育成が重要であり、積極的に職員採用を実施してきたところです。今後は業務委託等についても検討を行い、最小の経費で最大の効果が得られるよう取り組んでまいります。

質問

町民との対応は適切か。

町長

町民の皆様から信頼される職員になるためには、職員一人ひとりが常に目的意識と強い意欲をもって自らの能力開発や知識、技能の習得を図り、その能力を最大限に引き出すことが必要であり、今後も引き続き職員の資質の向上を図ってまいります。

## 当町に避難している他町村民のゴミ処理は

### 慎重に検討します

質問

ゴミ処理の費用についてどのように考えているのか。

町長

震災以前に比べてゴミ処理に係る負担金が増額になることは確かですが、その増額分を避難元の市町村に請求するためには、当該市町村ごとの排出量を集計して把握する必要があります。しかしながら、それを把握することは現実的に困難であり、避難という現況を考えれば負担を求めることについては慎重に検討すべきだと考えます。



ゴミ収集の様子（飯坂地内）



# 町民を放射能から守る対策は

## 取り組み体制の充実強化を図ります



しぎ はら とし みつ

議員 利光 原 嶋

**質問** 全世帯に放射能・放射線測定器を配付する考えはないか。

**町長** 原子力災害対策課に貸出用として200台用意しており、今後ともこれらについて利用をお願いしたいと思っています。

**質問** 町民の外部・内部被ばく量などを記録し、今後の健康管理に役立てるために町民健康手帳を作成すべきと考えるがどうか。

**町長** 県が配布している「県民健康管理ファイル」が代用可能だと考えます。

**質問** 子どもたちに配布したガラスバッジの測定結果は。

**町長** 本年6月末で1年を迎えるわけです。

が、児童・生徒が学校生活及び日常生活の生活全般において、1年間に受けると推定される年間平均被ばく量は、1・22ミリシーベルトになるものと推測しています。



大きく損壊した原子炉建屋

**質問** 子どもを持つ家庭は放射能に汚染された食材の摂取に不安を持っており、安心・安全な食材を購入していることが家計を圧迫している。町が食費を助成し、その分を東京電力に請求してはどうか。

**町長** 町体育館内に設置した「食品検査センター」の体制の充実強化を図り、安心な食生活環境を取り戻したいと考えており、町としては各家庭への食費の助成については現在のところ検討しておりません。

## 町外に自主避難している者への帰還対策は

### 健康管理と不安解消を図ります

**質問** 町外に避難している町民に対し、帰還誘導に向けての対策は何か検討しているのか。

**町長** 速やかに除染を実施すると共に健康管理を充実させ、避難者の不安解消を図っていきたいと思います。

**質問** 現在の町外への避難者数は。

**町長** 町外へ避難している町民の数は、平成24年5月末日現在において160名となっています。

**質問** 18歳未満の自主避難者数は。

**町長** 18歳未満の自主避難者数は、平成24年5月末日現在において74名となっています。

## 早急に役場仮庁舎の建設を

### 現在のまま進めます

**質問** 早急に役場仮庁舎を建設すべきと考えるがどうか。

**町長** 震災により役場庁舎機能を移転した中央公民館、保健センターについては、町民の皆様に施設の使用等について

大変ご不便をお掛けしていますが、町としては新庁舎が完成するまではこのまま進めていきたいと考えています。

## 川俣町防災計画の見直しは

今後行っていくきます

質問

町の防災計画は見直したのか。見直したのなら、いつ、どの箇所を見直したのか。

町長

町としては県の地域防災計画の見直しに合わせた計画の見直しを行うこととしており、一般的な見直しは今後行うことになりません。

質問

防災計画の見直しに対する周知は、徹底されているのか。

町長

今後計画を見直す中で幅広く周知していきます。



山林火災の現場

## 宮農団地の造成を

十分に検討します

質問

復興事業として宮農団地造成に着手すべきと考えるがどうか。

町長

宮農団地の造成については、その必要性和具体的な利用計画の策定など、十分に検討しなければならぬと考えています。町としては、現在、農業関係団体からの意見等を把握し、その必要性等について整理しているところですが、今のところ宮農団地造成に向けた強い要望は出されていません。

むら かみ げん きち

村上源吉 議員

## 居住地域の除染について

1ヶ月程度遅れています

質問

居住地域の除染は当初の計画どおり進んでいるのか。

町長

当初計画と比較して概ね1カ月から2カ月程度作業が遅れている状況にあります。

質問

シャモ飼育施設等の除染は。

町長

昨年の原発事故に伴う放射性物質の

拡散により、川俣シャモは開放的な運動場での飼育ができない状態となっています。町としては一日も早く運動場や鶏舎の除染を実施し、永年培った「川俣シャモ」のブランドを維持していかねばならないと考えています。



一日も早い除染が求められているシャモ鶏舎・運動場



# 自然エネルギーによる町興しを

## 導入を推進します



えん どう むね ひろ

遠藤 宗弘 議員

### 質問

積極的に自然エネルギーの導入を進めるべきだと思うが、平成23年度に取り組んだものはあるか。また、すべての公共施設に太陽光発電を設置するための予算を付けるなどの姿勢が必要だと考えるがどうか。

### 町長

自然エネルギーの導入については、第1次川俣町復興計画の中において木質バイオ



小水力発電の事例（長野県松本市）

マス、太陽光、風力あるいは小水力による発電など、積極的に再生可能な自然エネルギーの導入を推進することとしています。また、公共施設への太陽光発電の設置については、新たに建設する庁舎をはじめ公共施設における設置について、補助制度を有効に活用しながら取り組んでいきたいと考えています。

### 町長

現時点で具体的に話が進んでいる仮置場の予定地は小島地区に1箇所、福沢地区に1箇所の合計2箇所です。また仮置場の確保は除染の最重要課題であることから、全職員一丸となつて取り組んでいきます。

### 質問

現時点で決まっている仮置場の箇所数と場所は。全町除染は町の最重要課題なのだから、全職員が全力を挙げて仮置場の確保にあたる体制整備が必要だと思うがどうか。

今の段階では2ヶ所で検討中です

仮置場は決まったか

### 質問

川俣町農業・農村振興条例に基づく「農業及び農村の動向並びに農業及び農村の振興に関して講じた施策に関する報告」が行われていないが、なぜ条例を守らないのか。

### 町長

条例で義務づけられている議会への報告を怠ったことについて深くお詫び申し上げます。今後は二度と同じことを繰り返さないよう徹底してまいります。

町当局は条例を守れ

今後は遵守します



放射性物質を含む可燃物の仮置場（モデル除染事業・山木屋坂下地区）



## 第7回臨時会

# 国保税の税率を 据え置き！

7月11日に臨時会が開催され、被保険者の現状や原発事故により大きな不安を抱えている状況などを考慮し、一般会計からの繰出金を財源として国保税を据え置くことを決定しました。

### ●一般会計補正予算

#### 質問

今年は一般会計からの繰り出しによって国保税の税率を据え置くとのことだが、来年以降も国保会計で不足する分は一般会計からの繰出金で対応するのか。

(高橋道弘議員)

#### 答

医療費の動向や他の社会保険とのバランスなども考慮し、議会とも十分に議論を深めたうえで対応していきたいと考えています。

(古川町長)

#### 質問

町執行部は当初、議会の議決を経ずに国保

### ●国民健康保険特別会計補正予算

#### 質問

一般会計から繰り出すということは、国保に全く関係のない町民にも負担を強いるということになる。しっかりとした説明が必要だと思いませんか。(高橋道弘議員)

#### 答

毎年一般会計から繰り入れることについてはなかなか理解は得られないと思います。今後は国保会計の改正、改善にもしっかりと取り組んでいく必要があると考えます。

(古川町長)

#### 答

今後も議会の権威を守るため、全力を尽くしていく考えです。

(新聞善三議長)

## 委員会活動報告

### 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、7月4日～6日までの3日間、北海道長沼町と北海道伊達市を訪問し「デマンドバスの概要と運営状況」「次世代エネルギーパークの導入の経緯」について研修してきました。

### 北海道長沼町

#### デマンドバスの概要と運営状況

長沼町では、昭和63年以降民間バス事業の撤退が相次ぎ地域の足の維持、確保のため町営バスとして町が運営していました。平成20年より公共交通空白地域の解消、町営バス路線の再編のためデマンド型交通の導入をして3路線で運行しています。運営状況は他自治体同様きびしい収支状況にありますが、今後は合理的な運行により収支率の改善を計りたいとのことでした。

### 北海道伊達市

#### 次世代エネルギーパークの導入の経緯とその概要

伊達市の豊かな森林資源を活用した木製ペレットプラントをはじめ、市内にある太陽光発電や風



観光物産館内に設置された新エネルギーに関する情報パネル（伊達市）

力発電など再生可能エネルギー関連施設をネットワーク化し、道の駅である観光物産館を次世代エネルギーパークの中核施設として位置づけ、公共施設においても木製ペレットボイラーを取り入れるなど、再生可能エネルギーに重点を置いた「環境にやさしいまち伊達市」を目指しています。

#### 【参加者】

##### ○議員

菅野 正彦 委員長  
高橋真一郎 副委員長  
遠藤 宗弘 委員  
五十嵐謙吉 委員  
菅野意美子 委員  
菅野 清一 委員

##### ○随員

菅野浩市郎 企画財政課長  
橋本 文雄 議会議務局

# 議会報告

## 農地除染に関する要望活動を実施

農地除染の交付金措置に関する要望活動を実施してきました。

【月 日】 5月9日

【参 加 者】 古川道郎町長、嶋原秀雄農業委員会会長、新関善三議長、  
黒沢敏雄産業建設常任委員会委員長  
※随行 佐藤賢助産業課長

【要 望 先】 鹿野道彦農林水産大臣、細野豪志環境大臣  
平野達男復興大臣

【要望内容】 各大臣に対し、町の農地の現況、除染の具体的手法について説明し意見交換を行いました。  
特に農林水産大臣については、川俣方式の具体的取り組みの内容について地域の実情を踏  
まえて対応するよう要望しました。



鹿野農林水産大臣に要望書を手渡しました

## 被災市町村議会連絡協議会で要望・要請活動を実施

5月22日に、原発事故で被災した13市町村議会で構成する「東電福島第一原発事故被災市町村議会連絡協議会」が、野田総理と西澤俊夫東京電力社長に対し要望活動を実施し、本町からは菅野清一議員が出席しました。

【月 日】 5月22日

【要望・要請先】 野田佳彦内閣総理大臣、細野豪志環境大臣、平野達男復興大臣  
西澤俊夫東京電力㈱取締役社長

【要望・要請内容】

(1) 野田佳彦内閣総理大臣

①財物（土地・建物）に対する損害賠償、②精神的損害賠償及び補償等、③放射性物質の除染対策、  
④被災者の生活再建及び住宅、経済再建に対する支援、⑤放射線による健康被害対策及び子供の被  
ばく線量低減への支援、⑥警戒区域・避難指示解除準備区域等における防犯、防火体制の強化、⑦  
特定避難勧奨地点所在地域の被災者支援、⑧道路等交通網の整備、⑨高速道路無料化の継続、⑩原  
子力災害による固定資産税の廃止と財源補填、⑪農地等の維持・管理及び農産物の補償・検査体制、  
以上11項目について要望しました。

(2) 西澤俊夫東京電力㈱取締役社長

①財物に対する損害賠償、②精神的損害に対する賠償、③放射線による健康被害対策、④農産物の  
補償、⑤福島第一原子力発電所事故の確実な収束と安全確保、⑥迅速かつ正確で分かりやすい情報  
の公開の徹底、⑦事故に対する責任の認識、以上7項目について要望しました。



川俣町で開催された第7回伊達郡議会議員大会

大会終了後は、前福島県知事佐藤栄久氏より、「福島原発の真実と地方自治」という演題で講演がありました。

大会では国及び県に対して全体で5件の要望事項が提案されましたが、うち本町議会からは、「復興道路として一般国道114号・一般国道349号整備促進及び主要地方道原町川俣線の安全対策について」を提案しました。要望事項5件は全て採択され、最後に決議案と東日本大震災に関する特別決議案を採択し、閉会しました。

第7回伊達郡町議会議員大会が、去る7月18日に川俣町の「二期一会」で開催されました。

## 第7回伊達郡町議会議員大会



# 町民の声

## 私のひと言



### 羽山の 山頂にて

東福沢  
高橋 一 公さん

国破れて山河ありと詩った詩人がいるが、山河なしに等しいような線量のなか、福沢羽山の山頂の山つつじの花、約880本、見事な美しさで咲いてくれました。先輩が仲間が守り愛してきた山つつじです。

昨年はできなかった、つつじの下草刈と登山道の整備をしようと思い「羽山を愛する会」の会員に呼び掛けたところ約50名の方々が参加して下さいました。ちなみに羽山の線量は駐車場で1.0～1.4、中腹で0.8～1.2、山頂で0.9～1.2、落ち葉の積もった場所は少し高く4～6マイクロシーベルトです。「この線量を高いと思うか普通と思うかは登山に来てくれる人、山つつじを見に来て下さる人の自己判断、自己責任です。」と言うのは寂しく悲しいことです。

湖の水をスプーンですくうような気の遠くなるようなことでも1歩1歩やっていかなければ子供も若者も企業もないゴースタウンになってしまうのではないかと。年寄りの取越し苦労であれば良いのだが。

## 読みやすい 議会だよりを!

7月2日に「ホテル福島グリーンパレス」において、福島県町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催されました。エディターの城市創氏を講師に迎え、研修会は2部構成で行われ、前半は議会だよりを編集するうえで注意すべき点や編集作業の進め方、手に取って読んでもらうためにはどうすれば良いか等について話しがありました。後半は議会広報紙のクリニックが行われましたが、それぞれ読み易さに工夫が凝らされており大変参考になる研修会でした。

今後は、今回の研修会で学んだことを活かし、読者の皆さまにとってより読み易く、より親しみの持てる広報誌づくりに心掛けていきます。



福島市で開催された町村議会広報研修会

9月定例会は **9月6日(木)** 開会予定です  
皆様の議会傍聴をお待ちしています

◆議会だより編集委員  
議長 新関 善三  
委員長 斎藤 博美  
副委員長 菅野 意美子  
委員 高橋 道也  
委員 村上 源吉

原発事故による放射能汚染との戦いは、これからも続いていくものと思いますが、議会は町民の皆様が安心して普通の生活が営われるようになるまで戦い続けてまいりますので、遠慮なく皆様の声を議会にお寄せ下さい。  
(高橋道也)

東日本震災で被災された皆様や原発事故により、避難を続けられている方々に心よりお見舞いを申しあげます。  
議会は、毎週全員協議会を開き原発事故による農作物被害、町民の健康不安払拭や補償賠償問題への取り組み等さまざまな問題に對して町当局と協議を続けてまいりました。

編集  
後記